

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371600426
事業所名	グループホーム ふれんど

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 3ヶ月に1回、担当するいきいき支援センターが主催する認知症カフェに出かけている。職員配置の関係もあって利用者の参加は1～2名と少ないが、ホームといきいき支援センターの連携は取れている。 職員が自宅から持ち寄ったタオルを使い、4名の利用者が雑巾作りをしている。広告紙を折って作ったゴミ入れとともに、手製の雑巾が日ごろからお世話になっている地域の商店等に寄付される。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎偶数月に運営推進会議を開催し、利用者や家族、いきいき支援センター職員、民生委員等の出席がある。 ホームからの状況報告の後、参加者からの情報提供や意見交換をしている。他の地域に住む家族から、他の地域の認知症カフェの実施状況等の情報提供があった。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護受給者の利用が10名以上あり、区の保護係と緊密な連携を図っている。相談に保護係を訪ねることもあるが、3ヶ月に1度程度は区の担当者がホームを訪問している。 生活保護受給者の重度化や看取りに関しては、担当者から助言をもらいながら対応している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議に出席した家族からは、積極的な意見や質問がある。利用者の重度化に伴って、退居の条件や看取りについての質問があった。 「外出の状況が分からない」との意見には、外出予定や実施の記録を整備することで対処している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎			